

大堀敦子 with

Atsuko Ohori An Evening of Piano Trio
with Concert Masters of
The Warsaw National Philharmonic Orchestra

ワルシャワ・フィル コンサートマスターズ ピアノトリオの夕べ

～Program～

ベートーヴェン : ピアノ三重奏曲 第8番 ト短調 作品121a 「カカド変奏曲」

ショパン : ピアノ三重奏曲 ト短調 作品8

ドボルザーク : ピアノ三重奏曲 ホ短調 作品90 「ドゥムキー」



大堀敦子 Atsuko OHORI
ピアノ

ピオトル・ツェギエルスキ Piotr CEGIELSKI

ヴァイオリン

ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団
コンサートマスター

1975年、モスクワのP.チャイコフスキー音楽院でダヴィッド・オイストラフのクラスを卒業。1979年キエフのヴァイオリン・コンクールに入賞。1979～91年当地の国立オペラ・バレエ管弦楽団のソリスト・コンサートマスターをつとめる。1991年よりワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターとして、ヨーロッパ諸国をはじめアメリカ、カナダ、日本、韓国などを演奏旅行で訪れている。一方、ソリスト・室内楽奏者としても活躍しており、1997年には名古屋で開催された国際室内楽フェスティバルの開幕に参加。また1998年12月にはワルシャワ国立劇場にて、国際的に名声の高いナイジェル・ケネディとJ.S.バッハの「2つのヴァイオリンのための協奏曲」を共演した。

ロベルト・プトフスキ Robert PUTOWSKI

チェロ

ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団
コンサートマスター

ワルシャワ生まれ。フレデリック・ショパン音楽アカデミー在学中、青少年のためのポーランドチェロ・コンクール(エルブロンク)、第1回ヴィルト・トルストフスキ国際チェロ・コンクール(ワルシャワ)等数々の主要コンクールにて優勝。2003年ユトレヒト音楽院を首席で卒業。在学中、スウェーデン・コンクール(アムステルダム)にて受賞、リシャルト・ホル賞を授与される。1997年よりイベリア・チェロ八重奏団にて活躍。2008年から2009年まで首席チェリスト兼芸術監督を務める。ソリストとしても活躍する傍ら、アムステルダム・シンフォニエッタ、シンフォニア・ロッテルダム等にゲスト首席チェリストとして招かれており、多くの音楽祭にも招待されている。2012年1月には、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団のソロ・チェリストに、同年秋にコンサートマスターに就任した。

1948年、東京音楽学校(現東京藝大)卒業。
1950年、同校研究科修了。高折宮次、レオニード・クロイツァーに師事。1949年、デビューリサイタルの後、ソロ・リサイタル、NHK交響楽団をはじめ主要オーケストラとの協演。妹、洋子とのピアノ・デュオやその他の室内楽で日本全国で演奏活動を行う。その他、放送、テレビ、レコード吹き込みなどでも活動。

1960年、W.スタフオンハーゲン、吉田貴寿氏らとベートーヴェン・トリオを結成し全国で演奏活動。1956年～91年迄の35年間日本音楽コンクールの審査員を務める。1963年、ルドルフ・ゼルクン氏の招きでマルボーロ音楽祭参加。数多くの室内楽曲を研鑽・演奏。1978年、チェコスロヴァキア文化庁の招きで「プラハの春音楽祭」に出席。2002年、2004年、2007年、ツェギエルスキ、コシュラーチュ氏らと「ピアノ・トリオの夕べ」開催。2008年C.D.「大堀敦子ピアノ小品集」をEMIミュージックジャパンよりリリース。2012年、2014年、ツェギエルスキ、プトフスキ氏と「ピアノ・トリオの夕べ」開催。山形大学教育学部特設音楽科教授を経て、1969年より愛知県立芸術大学教授として後進の指導にあたる。現在、同大学名誉教授。

2017年 7月25日(火) 開演18:30(開場18:00)

浜離宮朝日ホール Tel: 03-5541-8710
「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ

全席自由 ¥5,000 ※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

■主催: アイエムシーミュージック

■後援: ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO

■お問い合わせ・お申込: アイエムシーミュージック 03-6907-2535 <http://www.imc-music.net/>